

記載例

社会課題の解決と企業成長の同時実現に関する事業評価

<解決しようとする社会課題とアプローチ方法>

食品リサイクルプロジェクトを通じた環境負荷軽減の実現

<社会課題解決に向けた事業活動と見込まれる自社への経済効果>

【社会課題解決に向けた現在の事業活動】

食品ロスの削減をさらに進めるため、専用チームを立ち上げ、どうしても廃棄せざるを得ない食品廃棄物を各店舗から集め、リサイクル工場にて、肥料、飼料に変え、契約農家にその肥料、飼料を使ってもらい、農作物を育ててもらう。その農作物を「環境配慮商品」として付加価値をつけて販売し、弊社起点の独自の食品リサイクルを行っている。

【社会課題解決に向けた挑戦的な事業活動】

販売期限が近づいたおにぎりやパンなどの対象商品を購入したお客様を対象に、販売価格の5%分のポイントを付与し、お客様と協働で食品ロス削減を目指す取組を進めるとともに、メーカーと共同で、素材や製造過程、温度管理を見直すことで、味や品質を落とさず従来よりも長い賞味期限を可能にした弁当などの開発を進める予定である。
また、地元の学校と連携した食品ロス削減のための授業を実施し、子どもの学習の場の提供にも貢献する。

【見込まれる自社への経済効果】

食品ロスの削減により、利益率が增加することが見込まれている。また、付加価値のついた環境配慮商品の販売により、売上が●%増加することが見込まれている。

【事業活動のロジックモデル】

別紙にて記載

<事業活動を通じて5年後に目指す自社の姿>

地域に根差した環境配慮型スーパーとしての地位を確立し、地域の方々に愛される店となっている。

<事業活動を通じた自社の挑戦的な目標>

社会課題解決に向けた目標			
指標	分野	環境	食品ロスの削減率
現状	2023	年	前年比10%減
目標	2028	年	前年比10%減

企業成長に向けた目標			
指標	分野	経済	環境配慮商品の商品点数
現状	2023	年	10点/年
目標	2028	年	30点/年

<事業活動を通じて見込まれる地域社会へのインパクト>

分野	見込まれる地域社会へのインパクト内容
環境	食品ロス削減による、市内のごみ削減に貢献する。
社会	食品ロスに対する取組について、地元の学校と連携した授業を実施することで、市内の子供たちの食育に貢献する。
経済	付加価値のついた環境配慮商品の販売による売上増に対して雇用が生まれ、札幌市全体の雇用者増につながる。

<地域社会へのインパクトに関連するSDGsのゴール>

1 貧困	2 飢餓	3 健康と長寿を促す	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を推進する	6 安全な水とトイレを世界中に	7 再生可能エネルギー	8 豊かさを増進する	9 産業と雇用イノベーション	10 人や国を超えて公正で包摂的な成長を促進する	11 持続可能な都市と地域社会	12 つくばる資源を大切に	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会を築こう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
							○			○	○	○				○

記載例

事業活動のロジックモデル

事業活動	インプット		行動		アウトプット		アウトカム	
		事業活動を行うために必要な資源(人材、モノ、資金)	→	事業活動を行うために必要な行動	→	行動によって生まれるモノ・サービス・状態	→	事業活動が目的としている効果
食品リサイクルプロジェクトを通じた環境負荷軽減の実現	業現在の事 業活動	食品リサイクルプロジェクト専用の〇〇部署を立ち上げ、〇〇人を配置	→	環境配慮商品の付加価値化の検討	→	環境配慮商品の販売	→	利益率の向上
	業現在の事 業活動	リサイクル工場との連携	→	生ごみの運搬、堆肥化、飼料化	→	契約農家における堆肥、飼料を使った農畜産物の育成	→	食品ロスの削減
	事挑 業戦 活の 動的 動な	来店客への行動変容を促す広告掲示	→	販売期限の近づいた商品購入者に販売価格の5%のポイント付与	→	売れ残りが減少	→	コストの削減
	事挑 業戦 活の 動的 動な	食品メーカーとの連携	→	賞味期限の長い弁当の開発	→	弁当の販売	→	食品ロスの削減と利益率の向上